

平成23年行政事業レビューシート

(外務省)

事業名	新日系人との関係強化プログラム関係経費	担当部局庁	北米局	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度開始	担当課室	北米第一課	課長 吉田 朋之				
会計区分	一般会計	施策名	I-2 北米地域外交					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第四条第一項	関係する計画、通知等						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	米国での伝統的な日系人人口が減少傾向にある中、日系人と非日系人双方の祖先を持つ子女、日本人米国永住者(いわゆる新1世)を親に持つ子女とといったいわゆる「新たな種類の日系人」の若い世代に目を向け、彼らの日系人としてのアイデンティティ意識を高め、将来の親日家の養成を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	日系人と非日系人双方の祖先を持つ子女、日本人米国永住者(いわゆる新1世)を親に持つ子女とといったいわゆる「新たな種類の日系人」の若い世代(学生)を日本に招聘し、都内・地方視察、外務省訪問、高校訪問・ホームステイを通じ、日本事情(政治・経済・社会・歴史・文化)を学ばせるとともに、高校訪問・ホームステイを通じ日本語でのコミュニケーション機会を与えることで、日本理解促進・日本語学習意欲の増進・日系人としてのアイデンティティ意識の増進を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	—	8	4	—	—	
		繰越し等	—	—	—	—	—	
		計	—	8	4	—	—	
	執行額		—	3	4	—	—	
	執行率(%)		—	33.1	86.9	—	—	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位 20年度 21年度 22年度 目標値 (年度)	20年度	21年度	22年度	23年度	
	招へいを通じて米国において日本を信頼できると考える層の拡大を目指すものであることから、参考となる指標の1つとして米国一般人に対する対日世論調査(日本人は信頼できる友邦であると回答した人の割合)を採用。			成果実績	67%	80%	79%	—
				達成度	%	—	—	—
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位 20年度 21年度 22年度 23年度活動見込	20年度	21年度	22年度	23年度	
	毎年1回実施			活動実績 (当初見込み)	回	—	1	1 (1)
単位当たりコスト	4(百万円/回数)		算出根拠	執行額÷回数				
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	—	—	—	—				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	－	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成22年度限りの経費。		
予算監視・効率化チームの所見			
		－	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		－	
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
平成23年度より、他の招へいスキームと統合した。			

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

外務省
4百万円

(1)米国内オリエンテーションの実施,
(2)受入れ先(高校及びホストファミリー)の決定,(3)地方旅行等計画・立案・調整・実施の委託



【企 画 競 争】

A.(社)国際フレンドシップ協会
4百万円

(1)米国内オリエンテーションの実施,
(2)受入れ先(高校及びホストファミリー)の決定,(3)地方旅行等計画・立案・調整・実施の委託

費目・使途 (「資金の流れ」 においてブロックごとに最大の 金額が支出されている者について記載する。費 目と使途の双方で実情が分かる ように記載)	A. (社)国際フレンドシップ協会			E.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	人件費	ガイド・エスコート代	0.40			
		事務局部門	0.01			
	その他	航空賃等移動費、車両借上、宿泊 料、食費、オリエンテーション会場 経費、入場料・拝観料、運用管理 費等	3.00			
	計		3.41	計		0
	B.			F.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	C.			G.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0
	D.			H.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A. (社)国際フレンドシップ協会

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社ジャルセールス	航空旅券代金(8名分)	2		
2	(社)国際フレンドシップ協会	事務局経費(人件費等), エスコート代, 運用管理費	0.6		
3	西鉄旅行株式会社	オリエンテーション関連現地手配料(於サンフランシスコ)	0.3		
4	イディオリंक株式会社	国内切符代	0.2		
5	株式会社大成観光バス	都内車両借上げ代	0.1		
6	YMCAアジア青少年センター	宿泊施設等使用料	0.1		
7	ソーラレ ホテルズ ア ンド リゾーツ株式会社	宿泊代(ホリデーイン京都), 食事代	0.1		
8	株式会社ヒューマンビーク	京都車両借上げ代	0.1		
9	(独)国立青少年教育振 興機構 国立オリンピック 記念青少年総合センター	宿泊施設等使用料	0.1		
10	講師A	講師謝金	0.04		